



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

長崎県内自治体との連携強化

Q 被爆県長崎内での「核のごみ問題」について、対馬市議会特別委員会は原発から出る高レベル放射性廃棄物「核のごみ」の最終処分場の候補地選定に向けた文献調査の受入れをめぐり、推進を求める請願について僅差の賛成多数で採択した。風評被害が長崎県内でも大きく起る恐れが出てくることを意味する。県市長会会長である市長として、どう考えるか。長崎県として平和行政の共有と充実化を提言していただきたい。

A 対馬市の今後の動向を注視したい。本市は非核平和都市宣言をしており、世界の恒久平和を目指し、反核・平和の啓発に取り組みたい。

Q 県への市独自要望事項の中で、島鉄に関する要望内容は。

A 島鉄は日常生活を支える輸送機関として必要不可欠であり、毎年継続して要望。内容は鉄道の再構築支援。今後、バス運転手などの労働不足が心配され、支援制度の構築を働きかけていきたい。

Q 給食の無償化について、独自に第2子、第3子など、負担が大きい家庭について検討するなど、少しでも改善していくこと。

A 知事会、市長会の同一行動として、国への要望の最重要課題として取り組みたい。

雇用対策

Q 全国的に中小企業の倒産が増えている。業績が戻っていないことが要因。本市での実態は。地場産業の継続と労働バランスを確保していくために県最賃898円の周知を。

A 多くの業種でエネルギーや原材料費、人件費などの大幅アップ、借入れへの返済負担など経営環境は依然厳しい状況。賃上げによる経費の増加は経営の悪化を招くが、賃上げの取組促進を図っていきたい。

地域健康づくりの推進

Q ボッチャ競技の推進を求める。ツデーマーチの復活を。

A 誰もが楽しめるスポーツとして普及ができるよう検討したい。現在オルレに取り組んでおり、オルレ島原コースを磨き上げていきたい。

【その他の質問項目】

◇高齢者福祉について、身寄りのない高齢者支援と認知症対策を問う
◇ごみ減量化対策について、生ごみ堆肥化装置の設置を要求



カラフル
ほんだ みほ
本田 みえ 議員

広報しまばらについて市民の声

Q ごみの行方が知りたい。

A ペットボトルは、再生処理業者において再資源化され、製品の原料として利用。リサイクル経費は中間処理委託料約700万円。有償取引で約1100万円の収入。

Q 活字が小さく読みにくい。

A 読みやすい工夫をするようにしたい。

すこやか赤ちゃん券

Q 対象を第1子目からに広げられないか。

A 令和5年2月から国指導で「出産・子育て応援交付金事業」がスタート。妊娠届出、面談終了後2万円。出生届出、面談終了後5万円支給。第1子目から支援する制度に変更した。

小中学校再編基本計画（素案）

Q 現在、どういった団体に説明を行っているか。

A 市校長会、市教頭会、市PTA連合会、保育園・幼稚園の園長会議、町内会・自治会連絡協議会など16団体。

Q 意見は出ているか。

A やむを得ない、早めに進めるべきと理解が得られる一方、登下校に関する事、実施時期に関する事、公民館の存続に関する事、中学校への進学に関する事、学校再編に合わせた街づくりに関する事などが寄せられている。

Q 再編計画はいつまでにつくり上げるのか。

A ある程度市民との合意形成が図られたら、再編基本計画を策定したい。時期は明確に定めていない。

高齢になっても安心して暮らせる島原

Q 無料入浴券の利用は固定的。現在の利用はどのくらいか。

A 毎年平均30%程度にとどまっている。別のものに変えてほしいという意見が多くなった場合は、市他の施設の入場券や利用券として使用することについても検討していきたい。

【その他の質問項目】

◇温水プールについて